

「京都・大津の街道に敷設した車道と車石」

■概要

江戸時代の街道では荷車の使用が原則として禁止されていたが、京都・大津の街道では例外として牛車の使用が認められていた。輸送の効率化、道路の損壊防止、通行の安全を図るため、当該区間では街道の幅員を半分に分けて片方を牛車専用の「車道」とし、路面に2列の舗石を敷いた。これが「車石」である。明治以降の道路改良により車道は撤去されたが、車石は一部が保存され車道の形態が復元されている。



明治時代に掘り起こされた車道(出典：土木学会「明治以前日本土木史」)

■写真及び位置図

- ①大津市立歴史博物館
(大津市御陵町 2-2)



- ②真宗大谷派閑栖寺
(大津市横木 1-2-2)



- ③宗教法人天満宮社
(京都市伏見区御香宮門前町 173)

